

新たなフотスポット “DAISENモニュメント” 誕生

植田正治写真美術館横のテラスザダイセン芝生広場にて6月26（木）、
DAISENモニュメントの除幕式が行われました。



大山を望む 新たな観光拠点へ

植田正治写真美術館に隣接している大山ハム直売所「テラスザダイセン」の芝生広場に、新たな観光スポット「DAISENモニュメント」が完成しました。これを記念し、6月26日（木）にはエア・ウオーターアグリ&フーズ株式会社および大山春雪さぶる株式会社による除幕式が行われました。

テラスザダイセンには、年間約13万人の来場者が訪れており、今回のモニュメントの設置によりさらに魅力的な観光拠点として、多くの人に足を運んでもらえることが期待されています。県内外からの観光客はもちろん、インバウンドの誘致も視野に入れた取り組みです。

除幕式では、エア・ウオーターアグリ&フーズの松本社長が「新たな観光資源として地域の発展に寄与することを願っています」とあいさつ。小澤町長は「大山観光の入り口がまた一つ増えました。人が集まるよりどころになるよう期待しています」と述べました。

今後は、植田正治写真美術館周辺において、景観作物の栽培も計画されており、訪れる人々に癒しと感動を提供する景観づくりが進められる予定です。



▲モニュメントの前で大山超ロングホットドックと一緒に撮影



▲モニュメント除幕の瞬間



▲大山超ロングホットドックにかぶりつく観光客



▲兵庫県から大山観光にきた吉永さんご家族

食べて撮って楽しい 赤いピンが目印！

完成した「DAISENモニュメント」の大きさは、幅約8メートル、高さが約1・5メートル。デザインは、アルファベットの大文字「DAISEN」と漢字の「大山」を組み合わせたものになっており、地域住民や観光客に親しみを感じてもらえる工夫が施されています。

モニュメントの中央には、大山ハムの頭文字「D」をかたどったピンマークが設置されており、ブランドカラーである赤がアクセントとしてひととき目を引きます。大山を背景にしたこのモニュメントは、思わず写真を撮りたくなる「映えスポット」として、地域の新たな魅力発信のシンボルとしてますます注目を集めていくでしょう。

モニュメントの完成を記念して、テラスザダイセンの人気メニューである全長約60センチの超ロングソーセージを使用した「大山超ロングホットドック」を期間限定で販売。除幕式当日は多くの来場者が訪れ、晴天のなか大山の絶景を眺めながら特製ホットドックを味わう姿が見られました。除幕式以降も、モニュメントの前でホットドックを持ちながら写真を撮ったり、推しのキャラクターのぬいぐるみと一緒に撮影しながら、推し活

を楽しんだりする観光客の姿が見られました。

大山の雄大な景色を「見て」、地元の色を「食べて」、思い出の写真を「撮って」、楽しめるスポットとして、ぜひお立ち寄りください。

※「大山超ロングホットドック」は8月末までの販売予定です。



TERRACE THE DAISEN

テラス ザ ダイセン

大山ハム直売店とテイクアウト専門のカフェ

- ・ 伯耆町須村1194
- ・ 植田正治写真美術館のすぐ隣
- ・ 大山スマートICから車で約6分



★今後のイベントスケジュール★

9月28日(日) 開催

おいしい! たのしい! が集まる
伯耆にぎわいフードマルシェ



▲Instagram



▲お気に入りのぬいぐるみと観光を満喫



▲自分の名前のイニシャルの文字の前で、はい、ポーズ!